

授業科目	こどもの造形あそび (CD クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格	幼二種免 保育士		ナンバリング	CH31507J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP5-2			
担当教員	平 寛							
授業概要	<p>子どもの発達段階を理解し、各種素材、教材をとおして造形美術の基礎理論及び制作方法を学ぶ。素材や場、あるいは行為などと出会って始まる「造形あそび」を実践し、幼児造形表現の指導に必要な基礎的資質を養い、実際の保育現場で活用できる力を学修する。制作は主に個人でおこなう。また、計画・実行・発表・反省をおこなうと共に、学習の全体を理解して自ら工夫することを体得する。</p> <p>新型コロナ対策の為、全 15 回 1 コマ 90 分を全 14 回 1 コマ 100 分対面授業とする。また、状況次第では Web 授業をおこなうこともある。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.「造形あそび」で最も大切な行為性を理解する為、基礎的な造形理論や実践をとおして習得。</p> <p>2.保育の現場に必要な素材の選定、技法等を選択する能力を養う。</p> <p>3.保育者として、発達段階に即した造形的な知識や技能、実践的な指導力の基盤を形成する。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	20	20	50	10	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			20	20	50	10	100	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
「造形あそび」に必要な専門的知識を身に付け、材料の特性を理解し活用できる。授業内で実施した造形活動を子どもに実践することができ、さらに独自に考えた造形活動を展開することができる。				「造形あそび」に必要な専門的知識や身に付け、材料の特性を理解し活用できる。授業内で実施した造形活動を子どもに実践することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション			講義 演習		講義の復習。 実施した内容について子どもに実践できるように考える。		60

	<p>本授業の目的、内容、方法(評価も含めて)などを説明する。「幼稚園教育要領」・「保育所保育指針」の表現について解説する。</p> <p>色彩演習 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵具の種類と使用方法 ・水彩絵の具による色彩ワーク ・色遊び 			
2	<p>色彩演習 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色彩について ・ペンハムのコマ制作 	講義・演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
3	<p>色彩演習 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎技法を用いて演習 にじみ・ドリッピング・デカルコマニー 	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
4	<p>色彩演習 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎技法を用いて演習 フロッタージュ・スタンプング 	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
5	<p>色彩演習 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎技法を用いて演習 貼り絵 	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
6	<p>紙を用いて造形 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折紙でユニット立体 	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
7	<p>紙を用いて造形 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包装紙を用いた立体造形 	演習	資料の準備。実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
8	<p>小さな絵本づくり 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ 	講義 演習	資料の準備。実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
9	<p>小さな絵本づくり 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストーリーボード 	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
10	<p>小さな絵本づくり 3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・製本 	演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
11	<p>小さな絵本づくり 4</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ制作 	演習	使用する素材の選定、準備。実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
12	<p>小さな絵本づくり 5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ制作 	演習	使用する素材の選定、準備。実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
13	<p>小さな絵本づくり 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページ制作 	演習	使用する素材の選定、準備。実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
14	<p>小さな絵本づくり 7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕上げ ・相互鑑賞 ・まとめ 	講義・演習	実施した内容について子どもに実践できるように考える。	60
15				
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	幅広く造形に関する書物に目を通しておくこと。積極的に課題に取り組む態度を必要とする。			
テキスト	必要に応じてプリントを配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜紹介する。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業で実践する内容(創作体験)は、自分自身が子どもに活動を行なうつもりで取り組んでください。子どもの姿を想像しながら授業前の道具・材料の準備を行い、実際に活動を体験することで保育者として気付いたことを、しっかりと振り返るようにしてください。			
達成度評価に関するコメント	「その他」では、授業への積極的な参加態度を評価する。 提出物の内容については、授業の中で指示をする。			

